
名前のない花

三月やよい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名前のない花

【Nコード】

N8729E

【作者名】

三月やよい

【あらすじ】

この小説はグループ小説第十九弾企画作品です。キーワード：グループ小説、ひと夏の恋、海で検索すると他の先生方の素晴らしい作品を読むことが出来ます。今回はしばしお付き合いの程、よろしくお願いします。

（前書き）

このお話は友人より受けた恋愛相談に少しだけ脚色・味付けしたものです。

「こんなコト思う人もいるんだ」とか「あー、あるある」とか思っていたけると嬉しいです。

初めて逢ったのは何気なく受講した他科のクラス。
整った顔立ちに優しそうな笑顔と細身のシルエット。そして口数少ない控えめなトコロが好みど真ん中。

2回目、授業で課題作成のため組み分けした時に偶然ペアになったの！

内心「やったー」って喜んじゃった。

他科授業だからそんなに気合い入れるつもりなかったけれども彼と一緒にもらえるならばと課題に対して熱心さをアピールしちゃった。一緒に大学構内の図書館で調べモノして一緒にランチ。

その時、初めてメアド交換もしてその夜に初メール！

『今度、御飯食べにいかない？』

思わずメールを保護しちゃった（笑

4月25日

初デート（って思ってもいいのかな？）は学校最寄り駅近くのちょっと可愛い和食居酒屋さん。

デート当日はもう朝から大変！

お洋服は・・・ワンピース？

お姉系とお嬢系どっちが好きかな？

露出つてもつとあった方がいい？

髪は・・・巻く？ストレート？・・・あ、アップの方が好きかな？

あゝもつと好みをちゃんと聞いておけばよかった（涙
待ち合わせは7時に駅前。

あと1時間でお洋服決めてメイクしなくちゃ！！

結局、水色のニットに白いシフォンスカート（ちよつとミニ）＋ルーズ巻きハーフアップにキラキラアクセっていう実に無難なお嬢さ

ん系スタイルで臨んだの。

学校で話すよりは話してくれたけれど結局は私が話す方が多い（涙
どうも話すの得意ってタイプではないみたいだからこっちから話を
振って答えやすい話題にして・・・ちよつと気を使っただけでも楽
しい時間を過ごせたあ♪

初デートで知った彼のコト

- ビールが好き
- 結構お酒が強い
- バナナが好き
- 本の趣味が私と一緒に！

5月

それからしばらくは週1ペースで御飯いたり飲んで来たり映画見
に行ったりと多分ハタから見たらデートなんじゃない？付き合っ
てるの？って日々。

でもね、「付き合う？」とかそんな話全くでない！

何で？私ってただのお友達なの？

私は・・・自分で言うのも何だけれど（実際はもちろん言わないよ
？だって大人だし・笑）結構イイ。

街を歩けばキャッチもスカウトにもしよっちゅうだし大学構内でも
たまに声をかけられる。

日焼け止め＋日傘死守で白美肌だしスタイルも・・・うーん・・・
きつとまあまあ？

サトエリちゃんに似てる！って言ってもらった時は嬉しくて思わず
サトエリが出てるグラビア誌買っちゃったなあ

彼氏も居ない時期が3ヶ月を越したことない恋愛体質。

一緒に遊ぶうち3分の2は彼からのお誘いだし・・・悪くは思
ってないハズだけれど・・・
どう思ってるのかな？

何で？

ちょっと不安なんですけれど！

6月中旬

彼の好みを彼本人と彼の友達から聞いてみる。

好みは『女の子らしくて明るくて話しやすいコ』。

彼の友達は私たちはとくにもう付き合ってると思ってたって（笑
ふーん・・・じゃあ友達にも私のコトは悪からずって話てるって
ことかあ

あ、照れる。ちょっと頬を赤らめたり。

きつと私から「好き」って告白するってのもアリ。

でも、私から告白したら、大人しい彼は来るモノ拒まらずってノリで
私と付き合いそうで・・・

何かそれは寂しい。

わがままかな？

付き合う時点での不安は何かイヤ（涙

出来れば・・・言って欲しいよう

6月29日

友達の車を借りて海までドライブ。

まだ泳げないけれど水遊びくらいできそう？

実は日焼けするから海って大嫌い。

山なら木陰があるけれど海だと逃げ場ないじゃん？

でも彼のお誘いなら行きますとも！日焼け止めでがつつり武装して！

波打ち際で裸足になって海に入ってみる。

彼もジーンズをまくって入水・・・後、ちょっと高い波が来て彼、

太股の辺りまで濡れちゃった。

私はそれを見て爆笑。

波に流されてうち寄せられる海藻を見て彼は何か難しいコト言っ
てる。

よくわからないけれど彼が何か楽しそう。
苦手だったけれど海も結構・・・楽しい♪

7月10日

海ではやっぱり少し日に焼けたみたいで頬がひりひり。ビタミンC
飲んで回復しなくちゃ！

今日は彼からのお誘いで美術館デート。

私が以前「ミュシャの絵が好きなの」って言ったコトを覚えていて
くれて作品展が開催される情報を仕入れてきてくれたの。

こんなもやもやした気持ちで見に行くなんてちよつとミュシャさん
に失礼よね、って思いながら彼と待ち合わせて美術館へ。

館内はすごい混雑で順路通りに歩くのも結構大変。

うつかりしているとすぐに彼とはぐれちゃう・・・はぐれちゃう
？じゃあはぐれないようにすればいいのかな？

「すごい・・・混んでるね」

ちよつと困った風に言って彼の二の腕を取りさりげなさを装って腕
を組んじやった！

「そうだね。人気あるね」

腕を組まれたコトには無反応な彼はいつも通り落ち着いた笑顔を返
してくれた。

えーっと・・・コレってつまり・・・自然なの？

私に腕組まれてもなーんとも思わないの？

綺麗な絵を見てちよつとカラオケ行つてその後、一緒に御飯+お酒
飲んで駅でバイバイ。

もうこんなんが3ヶ月も続いてるよう・・・

やっぱり私には女としての興味が無いのかなあ？

何か日焼けが痛く感じてきた・・・

7月18日

日焼けは何とかシミにもそばかすにもならず赤味が引いた！よか

ったあ

今回は今までとはちょっと違うの。

待ち合わせ場所は私のお家の最寄り駅。

そして私は一人暮らしだし彼も一人暮らし（なハズ）。

つまり・・・お持ち帰りのチャンス？

この前、私のウチの近所にある結構有名な焼き鳥のお店の話をしたら彼が行きたいってことになり今回セッティングされたの。

しかも2人とも今日で前期の試験終了！

ちよっとしたお疲れ様会って感じですね。

テスト勉強で二人とも寝不足だし酔いが早いかも？

ちよっとズルいけれど酔った勢いで！？

そんなシタゴコロ持ちつつ美味しく焼き鳥を賞味♪

あゝっネギマ美味しい・・・ささみの梅紫蘇巻きも美味しいなあ
彼もテスト終了の開放感かいつもより饒舌（って言ってもやつぱり
基本あんまり喋らないけど）

「コレ美味しいよ？」

と彼が飲んでいた酸っぱい梅酒を一口もらったりデザートのアイス
を「はい、あーん」って食べさせたりきつと周囲からは普通にカッ
ブルっぽく見えてるハズ。

ゆっくり飲んで話して気付いたらもう11時！

私のウチまで歩いて5分、彼の終電まであと1時間半。

ちよっと寄ってく？

くらい言っても大丈夫そうなお時間ですわねん♪

お店を出てすぐに、何度も頭の中でシュミレーションした台詞を言
つてみる。

「ね・・・え、ウチでお茶でも飲んでいく？」

言ったああああ！

ってここまで言えば意味、わかるよね？

一応健康な成年男子だもんね？

ここで断ったらホントに興味な・・・

「今、座つたら寝ちやうから帰るよ」
なし。

つまり興味なし。

あははは・・・・・・・・・・
がつくし

「そつか。結構飲んだもんね」

私ももうちよつと食い下がればいいのに余裕の笑顔で返して駅まで
送って今日も健全にばいばい。

つてか寝ちやつたらじゃあ泊まって行けばいいのにつ

バカ・・・・・・・・・・あ・・・・・・・・・・もしかして・・・・・・・・

お家で待つてる人がいるの？

7月19日

好きなんだよ！

やつぱり私は彼が好きなんだよね・・・・・・・・

だから同じクラスのコに告白されてもお断りをし、バイト先の社員
さんに御飯誘われても彼のコト相談しちゃって牽制してみたり・・
。

誘われれば合コンにも行くしその場で仲良くなってその後メールの
やりとりをした男の子も何人もいるけれど結局メールだけ。

お食事誘われても遊びに誘われてもいつも適当に誤魔化して実現ナ
シ。

きつと彼以外とはお付き合いする気ない。

もう3ヶ月も好き。

私はいつも好きになったら即行動だったのに今はこのほわほわした
関係が壊れるのイヤだから何かずるいの。

自分から言い出せないの。

それなのに彼の行動で一喜一憂してて・・・・・・・・何かバカみたい。
まだお付き合いしてるってワケじゃないのに。

自分だけが好きで自分だけで何かぐるぐる考えてる。

ちょっと強引に迫ればきつとちょっとくらいはお付き合い出来ると
思う。

押してもダメなら押し倒せ！ってね。

そやって落とした男の子だって居ないわけじゃない。

でも・・・そうしたら・・・何か短い恋で終わりそう。

ひと夏の恋？

いいの？ソレで！？

ふた夏でもみつつ冬でも越したくない？

季節を二人で越えてみたい。

お昼頃、お家でぼーっとしているところに来た彼メール

『昨日のお店美味しかった。また行きたいな。』

こんな普通のメールなのに何故か何度も読み返し。

やっぱり好きなんだね。仕方ない。

8月1日

今日は映画。

ハリウッドの超大作歴史スペクタクル。

緻密系のかけらもない映画で、どー考えても彼の好みじゃないけれ
ど誘ってくれた。

この映画・・・前、一緒に映画みた時に予告編が上映されたヤツ
だ・・・

あの後「見たいっ面白そうっ」って言ったの覚えていてくれたんだ
あ。

彼のそゆとこ大好き。

軽くごはん食べて今日も品行方正デート。

それもそれでいいかもね。

何故かあんなに嫌いだったのにまた海に行きたい。

今日の映画は彼が私の好みに合わせてくれて普段見ない映画を見てくれた。

多分楽しんでくれたんじゃないかな？

私も、苦手だったけれど彼と一緒にだと海が楽しかった。

あの強い日差しも磯の香りも何だか懐かしくなった。

前一緒に海に行ったのは初夏。

初夏の海もよかったけれど夏の海も一緒に行きたい。

このまま一緒に季節を過ごして秋の海も一緒に見たい。

冬だつてさすがに水には入れないだろうけれど見たことのない冬の海を感じてみたい。

そして、実は小さく前進している、最近。

一緒に歩く時はかなり高確率で腕組んで歩くようになった。

たまに手繋いでみても抵抗せずにそのままぎゅって返してくれる。

中高生のカップルじゃないんだから！もう少し進んでもいいんじゃない？

つて思わなくもないけれど（笑

嫌いな人とは手、繋がらないよね？

いいんだよね？

好きでいても。

8月8日

海に行きたいって思うけれど道がすっごく混んでるだろうからちょっと2人で妥協案。

水族館へ。

寝てるんだか起きてるんだかわからないマンボウに笑いつつペンギンのスイミングスタイルに感嘆！

「泳いでみたいなあ」

「え？泳げるの？」

「ひどーい！私ってそんなに運動神経悪そうに見える？」

「うーん・・・何か・・・ペンギンよりラッコの方が向いてそう・・・」

「それって・・・浮かんだけってこと！？」

「うん、そう」

「あ、ひどーい」

ラッコだって可愛いもん。実はそんなヒドイなんて思っていない（笑）軽く上目使いで睨みつつ「自分は運動神経良いからってさー」と拗ねたフリなんかしてみる。

混雑している館内を腕組んで歩く。

彼も素直に腕を取られながら私の歩幅に合わせて歩いてくれる。

冷房効いているからくつついてもそんなに暑くない。

水槽の中は水色できらきらしている。

あっちも涼しいのかな？

「水の中も涼しいかな？魚にとっては快適かな？」

彼がまぶしそうに目を細めながら水槽を見て言う。

それ、私も同じコト考えていた！

私が好きなモノに歩み寄ってくれる。

彼が好きなモノと一緒に触れられると嬉しい。

一緒に秋の海見に行きたい。

クラゲとか・・・見ることできるかな？

いつもの帰り際、いつもとは少し違うことをしてみる。

「おやすみなさい」

これは酔った勢い？いいえ、確信犯です。

好きだしやつぱり我慢は良くない。

向こうから・・・を待つのも良いけれどこっちも歩み寄ってみたい。私は彼の肩にそっと手をあてて頬にキスした。

多分たつぷり2秒間。

よかったあ。逃げられなくて。

あ、でも驚いた顔してる（笑）

って当たり前か。

ちよつと急ぎすぎた？

「お・・・おやすみ・・・」

やつと口を開いた彼。

狐につままれた感じかな。

コレをどう解釈するかは彼次第。

私はにつこり笑ってはいばいと彼を送り出した。

お互いの路線の階段を上がりながら

「これからですよ」

と私は小さくヒトリゴト。

ひと夏の恋？とーんでもない。長いですよ、コレはきっと。

そして夏ですもん。少しくらいは買仕掛けますか。

言わぬなら、言ってもらおう、スキデスと。

さて、次はどうしよっかな？

（後書き）

彼に関しては色々なヒトを想像出来るように敢えて説明せずに見ました。

身近な人、または好きな人に当てはめて想像していただけたら幸いです。

余談ですが、モデルとなった友達は煮え切らない「彼」ではなく別の猛アタックしてきた男性に持つて行かれました。恋愛って勢いも大事ですね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8729e/>

名前のない花

2011年1月13日02時42分発行